

2021年6月23日

お知らせ

藤江校区まちづくり協議会
明 石 市
山陽電気鉄道株式会社

7月1日（木）、『藤江駅前オアシス』がオープンします

～誰もがたどえる憩いのスペースを開設します～

藤江校区まちづくり協議会（明石市藤江、会長：大野美代子）は、山陽電気鉄道株式会社（本社：神戸市長田区、代表取締役社長：上門一裕、以下「山陽電車」）が所有する藤江駅前建物を活用し、明石市（市長：泉房穂）の協力を得て藤江駅前の活性化をはかるとともに、地域住民の交流を促進することを目的として、7月1日（木）に「藤江駅前オアシス」をオープンします。

現状、山陽電車藤江駅周辺は、以前に比べ近隣で買い物ができる店舗が減少するとともに人の流れも減り、住民間の交流の機会も乏しくなりつつあります。このような状況のなか、藤江校区まちづくり協議会が「藤江駅前オアシス」を主体となって運営し、活気あふれるまちづくりを目指してまいります。

1. 「藤江駅前オアシス」概要

- (1) オープン日時
7月1日（木）10：00
- (2) 場 所
山陽電車 藤江駅前（明石市藤江 1701-3）
- (3) 開所時間
毎週火曜日～土曜日 10：00～16：00
- (4) 壁画制作
明石市立望海中学校美術部の協力により、
建物のシャッターや外壁に壁画を制作



■「藤江駅前オアシス」の外観

2. 活動内容（別紙参照）

- (1) 喫茶コーナー
コーヒー等の飲み物の提供
- (2) 各種相談会やイベント
保健師による健康相談会、にじ作業所によるパンの販売、歴史講座等
- (3) 地域活動のための室内スペースの提供等
イベント、趣味の教室等

3. 協力

(1) 明石市

運営費・施設整備費の補助等（明石市みんなの居場所づくり事業）

※明石市みんなの居場所づくり事業について

世代や障害等の有無に関わらず、地域住民の誰もが相互に交流し生きがいや役割をもって生活できる地域づくりを目的に、地域のつどい場等を運営する団体等に対し、運営に必要な経費や施設のバリアフリー整備費用等の全部または一部について補助しています。

(2) 山陽電車

沿線活性化に向けた取組の推進

- ・藤江駅前でのスペースの提供
- ・山陽電車沿線情報誌エスコートや SNS を活用した情報発信
- ・藤江駅前オアシス内に山陽電車コーナーの設置
- ・オープン後も藤江駅周辺の魅力向上に積極的に協力します。

4. その他

- ・新型コロナウイルス感染症の状況等に留意しながら、賑わいづくりや地域住民が交流できる活動について充実をはかります。

<参考>

- ・藤江校区まちづくり協議会 (<https://a-machi.jp/fujie/>)

2019年6月に発足し、安全安心部、地域交流部、健康福祉・子育て部、生活環境部の4部会を立ち上げ、事業推進に向けて様々な取り組みが進んでいます。地域の方々を主役として、行政と協働した明石市民主体のまちづくりをはかっています。

以上

本件に関するお問い合わせ

(主催)

藤江校区まちづくり協議会

TEL 078-939-4900

(協力)

明石市福祉局地域共生社会室 共生社会づくり担当

TEL 078-918-5292 内線 3174

山陽電気鉄道株式会社 鉄道営業部 営業課

TEL 078-940-5132

藤江校区まちづくり協議会
地域のつどい場「藤江駅前オアシス」事業概要

(1) 目的・趣旨

藤江駅周辺はかつて喫茶店や寿司屋さん、本屋さんやパン屋さん、トイホーやスーパー等で賑わいを見せていたが、今では買い物難民の地域と変貌し、同時に人の流れも少なく、住民間の交流の機会も減少し、非常に寂しい地域となってしまった。

そこで、誰でもが集える、笑顔と対話と明日への活力につながるみんなの居場所を提供し、コミュニティの輪を広げ、まちの活性化を図ることにより、地域の賑わいやぬくもりをもう一度取り戻すと共に、近い将来駅舎やその周辺に様々な店舗を誘致できるような活気溢れるまちづくりを目指します。

(2) 設置場所

明石市藤江1701-3 山陽電車藤江駅前

(3) 主催

藤江校区まちづくり協議会

(4) 協力

山陽電気鉄道株式会社、明石市

(5) 事業開始

令和3年7月1日(木) 10:00～

(コロナ対策を講じたうえで、実施可能な範囲からスタートしていく)

(6) 提供するサービス

1 休憩所「オアシス」

平日 火、水、木、金、土曜日(5日間) 10:00～16:00(6時間)

- ・ 電車やバスの待合室として
- ・ 家族や友達との落ち合う場所として
- ・ 散歩や買い物途中の休憩に(トイレも利用)
- ・ 藤江の海岸を訪れた観光客の休憩場所として(観光案内も)
- ・ お弁当を買ってきて昼食も
- ・ 読書や子ども達の自習室として
- ・ 車いすの方や乳母車を押した若いお母さんや赤ちゃんの休憩の場に
※赤ちゃんの遊び場(常設) ※喫茶コーナー(常設)



2 保健師による健康相談 週に2回、平日健康相談(出来たら月1回のセミナーも)

3 スタッフによる歴史講座 月1回 明石の歴史などの講座

4 歌声喫茶 月1回 童謡、抒情歌、懐メロなど、間にストレッチ体操

5 朝市開催 月1回 卸売市場や野菜農家から

6 パンの販売 週1回(金曜日) 11:30～13:00 にじ作業所

7 イベントスペースの提供 地域の住民や団体が実施するサロン活動や会議など
に対し、イベントスペースを提供する。

8 花壇の整備等 藤江駅前の花壇の整備および管理

(7) 運営

- 1 運営資金 ○ 藤江校区まちづくり協議会
○ 明石市みんなの居場所づくり事業補助金
○ 利用者負担や寄付等
- 2 運営委員会 「藤江駅前オアシス運営委員会設置規定」に基づく
- 3 運営スタッフ ボランティア募集（ボランティア登録）
※全国社会福祉協議会「ボランティア活動保険」に加入する。

《経緯》

平成30年	1月	藤江校区全世帯アンケートを実施 藤江駅前周辺において以下の課題が浮き彫りとなる ①藤江駅及び駅前周辺の活性化 ②藤江駅南側改札口設置とバリアフリー化 ③買物難民の解消
令和元年	12月	藤江駅前活性化プロジェクト結成(藤江駅周辺自治会及び地元有志)
令和2年	12月末	山陽電車藤江駅前建物を活用した駅前活性について検討を開始
令和3年	1月	明石市みんなの居場所づくり事業について明石市と協議を開始
	〃	藤江駅前建物の借用について山陽電気鉄道株式会社との交渉を開始
	1月19日	プロジェクト会議でみんなの居場所づくり事業の実施を決議
	2月10日	プロジェクト会議で「藤江駅前オアシス」と命名
	3月21日	藤江校区まちづくり協議会の代表者会に提案・決議
	3月31日	山陽電気鉄道株式会社との間で「定期建物賃貸借契約」を締結
	4月1日	山陽電気鉄道株式会社より藤江駅前建物を借り受け、開設に向けた準備を開始
	4月22日	明石市みんなの居場所づくり事業補助金交付申請
	5月27日	施設のバリアフリーおよび消防設備等の工事着工
	5月29日	望海中学校美術部による壁画制作着工(6/19完成)
	6月1日	ボランティア登録開始
	6月12日	花壇植え付け開始
	7月1日	藤江駅前オアシスオープン(予定)

問い合わせ先：藤江校区まちづくり協議会
TEL 078-939-4900